

高校生 ICT Conference 2020

in 長野

「新しい生活様式と ICT 活用法」～行動制限の時代に生きる～

開催報告書

2020年10月17日(土)14:00-16:00

【会場】：オンライン

主催

高校生 ICTカンファレンス実行委員会
(構成団体)

一般社団法人安心ネットづくり促進協議会
大阪私学教育情報化研究会

一般財団法人草の根サイバーセキュリティ運動全国連絡会

共催

内閣府、消費者庁、総務省、文部科学省、経済産業省

2020年10月30日

目 次

1. 開催概要.....	2
2. 高校生 ICT Conference 2020 地域開催.....	4
3. 高校生 ICT Conference 2020 in 長野 開催概要.....	5
4. 主担当.....	10
5. 高校生 ICT Conference 2020 サミット.....	10
6. 高校生 ICT Conference 最終報告会.....	10
7. 高校生 ICT Conference の成果物と終了後の対応.....	10

1. 開催概要

名称：	高校生 ICT Conference 2020 新しい生活様式と ICT 活用法 ～行動制限の時代に生きる～
主催：	長野県教育委員会 高校生 I C Tカンファレンス実行委員会 (構成団体) ● 一般社団法人安心ネットづくり促進協議会 ● 大阪私学教育情報化研究会 ● 一般財団法人草の根サイバーセキュリティ運動全国連絡会
共催：	内閣府、消費者庁、総務省、文部科学省、経済産業省
後援：	一般社団法人全国高等学校 PTA 連合会、全国高等学校情報教育研究会、一般社団法人電気通信事業者協会、一般社団法人全国携帯電話販売代理店協会、一般社団法人日本スマートフォンセキュリティ協会、特定非営利活動法人コンピュータエンターテインメントレーティング機構、独立行政法人情報処理推進機構、一般財団法人マルチメディア振興センター、一般社団法人インターネットコンテンツ審査監視機構
協賛：	グーグル合同会社、株式会社ラック、グリー株式会社、株式会社サイバーエージェント、株式会社メディア開発綜研、一般社団法人全国携帯電話販売代理店協会、エースチャイルド株式会社、Twitter Japan 株式会社
協力：	株式会社内田洋行、株式会社 NTT ドコモ、KDDI 株式会社、ソフトバンク株式会社、デジタルアーツ株式会社、一般社団法人インターネットコンテンツ審査監視機構、ストップイットジャパン株式会社、
開催目的：	<p>高校生 ICT Conference は、2011 年度に「ICT プロジェクト 高校生熟議 in 大阪～ケータイ・インターネットの在り方&活用法～」として大阪でスタートしました。2012 年度は、東京開催を加え計 17 校 79 人の高校生が参加、その後順次規模を拡大し、2019 年度には、全国 19 拠点にて開催し、計 129 校 559 人の高校生が参加しました。</p> <p>高校生 ICT Conference の開催目的には、二つの側面があります。その一つは、教育的側面であり、初対面の人と話し合うという経験の中で、段階的に「考え、まとめる、聞く、話す、見せる、伝える」などの技術を修練することです。第二に社会的に注目を浴びている携帯電話やインターネットをテーマとすることで、大人になる準備段階として、携帯電話やインターネットを安心して安全に使うために、高校生として情報モラルについて自ら深く考え、実践することで、将来のより良いインターネット利用環境の構築の一助とすることです。</p> <p>【本年開催テーマのコンセプト】</p> <p>近年、台風、水害などの自然災害のみならず、世界的な感染症の流行など、かつては想定できなかった事態に遭遇しています。例えば感染症の流行では、外出自粛（登校禁止含む）が長期間に及びました。未だ完全な対策が無い中で、生活様式の見直しを求められ、また社会自体も大きく変わろうとしています。</p>

	<p>高校生が、この環境変化をどう捉え、またどう乗り越えようとするのか、ICT活用という側面から、高校生の目線で、今ある環境の活用、また将来の期待する姿を、様々な視点から考え、紹介また提言する。</p> <p>※平成21年4月から施行された「青少年インターネット環境整備法」に基づき、青少年が安心・安全にインターネットを利用するための環境整備が始まった。民間の自主的・主体的取組が鋭意進められていると共に、行政に於いても施行状況の検討が進められている。一方、新学習指導要領が平成23年度の小学校を皮切りに、平成24年は中学校、平成25年度は高等学校で全面实施される。また、急速に普及を始めたスマートフォンや新しいICT（情報通信技術）サービスにおいて、青少年が健全にICTを利活用できるように育成するため、青少年への指導に加え、保護者や教職員への「情報モラル教育」の啓発活動が重要視されている。スマートフォンの登場などにより急速に変化したインターネット利用環境下における諸問題について議論し、高校生が家庭や学校で取組むべき課題とともに、行政、事業者等への要望について本取組で提案し参考に資する。</p>
開催の概要：	<p>【各開催地での内容】 ※日程は、2. 地域開催の欄をご覧ください。</p> <p>(1) 挨拶 (2) 講演 (3) アイスブレイク (4) 熟議 (5) グループ発表 (6) 講評 (7) サミット参加者発表</p> <p>【東京サミット】</p> <p>(1) 挨拶 (2) アイスブレイク (3) 提言のための熟議 (4) 提言発表 (5) 講評 (6) 最終報告会参加者発表</p> <p>【最終報告会】</p> <p>(1) 各府省庁への提言発表（プレゼン） (2) 質疑応答・意見交換</p>
各開催地 募集人員等：	<p>募集参加生徒 30名（各開催地により変動あり） 募集見学者各回 30名（各開催地により変動あり）</p>
参加参観方法：	参加費・参観無料 [要事前登録]
高校生 ICT Conference2020 実行委員会：	<p>【委員長】</p> <ul style="list-style-type: none"> 米田謙三（大阪私学教育情報化研究会 副会長） <p>【コアメンバー】</p> <ul style="list-style-type: none"> 石田幸枝（公益社団法人全国消費生活相談員協会 IT研究会理事・消費者団体訴訟室長） 猪股 富美子（お茶の水女子大学 人間発達科学研究所） 植田 威（特定非営利活動法人 NPO 情報セキュリティフォーラム理事） 小城 英子（聖心女子大学） 他、関係者団体、事業者等 <p>【事務局】 安心ネットづくり促進協議会 〒104-0031 東京都中央区京橋三丁目14番6号 斎藤ビル2階 TEL：03-3562-8850 FAX：03-3562-1180</p>

2. 高校生 ICT Conference 2020 地域開催

高校生 ICT Conference 地域開催では参加した高校生がテーマに沿った議論を実施し、サミットへ行く代表者を選抜します。

地域	開催日	開催方法	システム	備考
北海道	10月11日	オンライン	Zoom	
茨城	10月27日	オンライン	Google Meet	
神奈川	10月17日	オンライン	Zoom	
新潟	9月13日	オンライン	Zoom	
石川	10月11日	オンライン	Zoom	
長野	10月17日	オンライン	Zoom	
静岡	10月18日	オンライン	Zoom	
大阪	9月6日	オンライン	Zoom	
奈良	10月4日	オンライン	Zoom	
高知	10月24日	オンライン	Zoom	
福岡	10月25日	ハイブリッド	Zoom	
佐賀	10月4日	オンライン	Zoom	
大分	10月10日	オンライン	Zoom	
鹿児島	10月17日	オンライン	Zoom	
オンライン	11月1日	オンライン	Zoom	
サミット	11月15日	オンライン	Zoom	

東京サミットへは各地域で独自で実施した情報モラル・リテラシー啓発サミットからのオブザーバー参加者を招待予定。(サミット熟議のみ参加) ※2019年度実績：福井

3. 高校生 ICT Conference 2020 in 長野 開催概要

概要	<p>高校生、教員、教育関係者など 44 名の参加者を得て、「新しい生活様式と ICT 活用法 ～行動制限の時代に生きる～」をテーマに、高校生が学校ごと事前に議論して発表し、高校生同士が質疑応答等を通して考えを深めました。</p> <p>今年は新型コロナウイルス感染症対策から、Zoom を使用したオンラインによる開催としました。</p> <p>〈開会あいさつ〉</p> <p>(長野県教育委員会 心の支援課長 松村 明 氏)</p> <p>長野県での開催も 6 回目を迎え、初めてオンライン開催としました。高校生が今年度のテーマに沿って ICT の利活用について考え、行動していくことは大きな意義があると思います。皆さんには、自己はもとより社会により良い影響を与えるような高校生になってほしいと思います。</p> <p>(総務省信越総合通信局 情報通信部電気通信事業課 課長 太田 伸一 氏)</p> <p>新型コロナの影響で ICT の活用が拡大している一方で、不正な使用や誹謗中傷という問題が顕在化しています。インターネットは日常生活に必要な不可欠なものとなっており、正しく活用するよう努めて欲しいと思います。</p> <p>〈第一部：Presentation①、参加校発表〉</p> <p>小テーマ「行動制限の中で、どのように ICT 機器を使っているか」について、事前に各校で意見交換した内容を、プレゼンテーション・ソフトを画面共有しながら、3 分間で発表しました。新型コロナウイルス感染症拡大防止等のため、学習や日常生活（コミュニケーション等）においてどのように ICT 機器を使用しているかについて、近況や感じている課題等を発表しました。</p> <p>発表と全体で 15 分間の質疑応答を通して、ICT の利活用についてのメリットや可能性を出し合う一方で、デメリットや危険性、注意が必要なことなどについても、高校生の目線で気付いたことを共有しました。</p> <p>(各学校の発表要旨は以下の通り) 発表順</p> <p>【長野県松本県ヶ丘高等学校】</p> <p>本校は ICT の活用が比較的進んでおり、iPad を使ったオンライン授業や、コロナ禍での文化祭などで、今年度大きな進歩を遂げるとともに、様々な課題も見えてきた。今後は、生徒会活動をしていく上で、自分達が先頭を切ってより ICT を活用しながら、全校、さらに校外の人たちも巻き込んだ活動をしていきたい。</p> <p>【長野県松本美須ヶ丘高等学校】</p> <p>生徒会では毎年「みすずっこミーティング」という生徒がテーマごとに集まっての話し合う活動をしている。今年は ICT やネットの利用についてがテーマだった。SNS、LINE、ゲーム、休校中の動画授業などの使用現状を踏まえ、生活リズムの崩れと時間の管理の難しさ、学習に集中できない状況、ネット環境の格差等の課題を</p>
----	--

浮き彫りにした。

【長野県北部高等学校】

行動制限の中で、友達とのコミュニケーション、初めての体験だったオンライン授業、コロナウイルスに関する情報集めなどに ICT 機器を利用した。その中で、「間違った情報が流行し翻弄されてしまう」「スマホは中毒性が高く見ていないと不安になる」「顔が見えないからきつい言葉で伝えたり誹謗中傷につながったりする危険性がある」など、課題についても改めて確認できた。

【長野県高遠高等学校】

生徒総会や新役員の立会演説会は、Zoom を使用して会議室本部と各 HR 教室をつないで行った。委員会の連絡も LINE で行うようにしている。また、臨時休業中の授業もリモートや You Tube で行われた。

【長野県松本深志高等学校】

コロナ禍で初めてオンライン授業を体験した。家にいても授業が受けられるというメリットがあった一方で、「オンライン予備校で代用可能ではないか」「生徒の自主性に頼らざるを得ない」「生徒と先生の関係が成立しにくい」「通信環境に頼っている」というデメリットもあった。特に、高校とオンライン予備校との差別化や通信環境の整備などについて課題を感じた。

【長野県松本工業高等学校】

Google Classroom を利用して課題提出や授業を進めた。その中で「いつでもどこからでも提出することができるので時間に余裕が生まれる」「紙を使わなくてもよいので資源を節約できる」「先生が集計しやすい」などのメリットを感じる一方、「ICT に慣れていない人はむしろ時間がかかってしまう」「課題の送信が失敗してしまうと提出期限に間に合わない場合がある」といったデメリットも感じた。しかし、コロナ禍で、これまでとは異なる使い方をすることによって、より ICT が身近なものになるとともに、ICT の便利なところばかりだけではなく問題点に目を向けやすくなった。

【長野県明科高等学校】

Zoom を利用した SHR や生徒総会、Google Classroom を利用した課題提出などを行った。また、インターネットを活用して文化祭を行ったり、海外の人とも交流した。このような状況下で、生徒、保護者及び教職員にアンケートを実施したところ、ICT 機器への知識や活用に対する意識に個人差があることが分かった。ICT 機器利用の機会が急速に増えたことで、その可能性と課題が見えた。

≪ 第二部：Presentation②、参加校発表 ≫

大テーマ「新しい生活様式と ICT 活用法 ～行動制限の時代に生きる～」について

て、事前に各校で熟議した成果を、プレゼンテーション・ソフトを画面共有しながら、3分間で発表しました。「今後の学習や日常生活の中で、ICT 機器をさらに上手に活用していくために、私たちには何が必要なのか」「次代を担う高校生として心がけるべきことは何か」「大人に検討してもらいたいことは何か」などを発表しました。

発表と各校3分間の質疑応答を通して、ICT 利活用の可能性と留意点を高校生の目線で指摘し、社会や大人に対する高校生らしい提言をしました。

(各学校の発表要旨は以下の通り) 発表順

【長野県松本深志高等学校】

高校とオンライン予備校との差別化を明確にするために、人との接点を通じ他人と交流することで人格を形成する、という高校教育の大切な意義を踏まえ、地域の方、大学生、社会人などと交流するようなイベントにもっと関わりたい。大人には、通信環境の整備を進めるため、オンライン機器の支給および学校内オンライン環境の充実を図ってもらいたい。

【長野県高遠高等学校】

生徒会の連絡は LINE で行いミーティングの機会を減らしたり、中学校とリモート会議を行い交流を図っていく。今後は ICT を利用してコミュニケーションをとることがさらに重要となるが、ネットによる誹謗中傷に注意しなければならない。スマホによるいじめやからかいをなくし、安心した学校生活を送るためにはどんな活動が必要か、生徒会で考えていきたい。

【長野県松本工業高等学校】

私たちは「スマートマスク」の開発とその活用による新しい生活様式を提案したい。私たちが考えた「スマートマスク」とはスマートウォッチの機能を持たせたマスクで、温度センサーを内蔵し体温計測を行ってデータを記録、気になる体調の変化もアプリに入力して記録させる。「スマートマスク」をつけることで簡単にヘルスチェックができ、健康状態を提出する場面でもデータをそのまま送信できる。新型コロナウイルスに感染してしまった場合も、それまでの経過をすぐに医療機関に報告して健康状態を考慮した治療ができる。新型コロナウイルス接触確認アプリ COCOA と連携しデータを活かすこともできそう。また、マスクをつけるメリットに着目して、これまでマスクをつけるのを嫌がった人もつけるきっかけになる。

【長野県松本美須ヶ丘高等学校】

新しい生活様式の中で ICT をよりよく活用するために、私たち自身はもっと学習用に使う意識をもち、ICT 機器を勉強用と学習用に分けたり、使用時間を上手に割り振ったりしたい。また、正しい情報と誤った情報を見分け、ICT も時と場合によって使用方法を分けることが大切。また、情報モラルを学ぶ機会を積極的にもっていきたい。

【長野県松本県ヶ丘高等学校】

このようなことができればよいと考えている。スマホ依存症になる危険性を回避するために、授業中はスマホを使って学習し、休み時間はスマホをしまつて友だちとの会話などを楽しむ。視力の低下を防ぐために、学校で目の体操を行ったり、ブルーベリーを配布したりする。誹謗中傷を予防するために、リアルな人間関係の重要性を確認できるような機会（生徒会や学校が企画した行事）を月1回提供する。

私たちはこれから様々な機器を取り扱う役割を担っていくことになる。情報化社会の先頭に立って、日本そして世界を担っていきたい。

【長野県北部高等学校】

今後の学習や日常生活の中で、ICT 機器をさらに上手に活用していくために、「セキュリティ面をきちんと理解する」「すべてを ICT 機器に頼るのではなく、対面授業など人と人とのコミュニケーションも大切にする」「使い始める前に、ルール、マナー、モラルをきちんと確認した上で使用する」「長時間の画面視聴は目が疲れるため、時間を決めてメリハリをつける。」

大人に検討してもらいたいことは、「学校から一人一台タブレットを支給してほしい」「学校へ入ったりロッカーを開けたりする際は、指紋認証や顔認証が必要なようにしてほしい。」

【長野県明科高等学校】

今後、高校生は、先生が行うオンライン授業を受動的に受けるだけでなく、写真画像や PDF にマーカーをつけて覚える学習用アプリを利用するなど、能動的に ICT を活用していきたい。ICT を活用すれば、遠隔地の人、異業種の人、異世代の人などとの交流も広がるので、そのような利点を生かしていきたい。

また、QR コードを利用して手軽に学校生活アンケートを行い、私たち高校生はもちろん、保護者や先生などの意識も調査し、それを共有することで、全体の課題解決を図っていきたい。ICT 機器や SNS は便利なツールだが、生徒会で「SNS からちょっと離れてみる day」を提案し、ICT 機器との関わりについて考える機会も設けたい。

《サミット代表選考・発表》

(サミット代表 長野県明科高等学校 村上 詩緒里 さん)

参加生徒により互選され、長野県代表として、本日の成果を全国に伝えていく決意が語られました。

《講評》

(子どもとメディア信州 矢澤 智都枝 氏)

素晴らしいカンファレンスでした。ICT の課題と可能性が明らかになりました。情報モラルを身につけ能動的に ICT を活用している皆さんに3つのメッセージを送ります。① ICT だけでなくリアルも大切にして豊かなコミュニケーション

	<p>を図ってください。②「情報」も三密だと真実が見抜けません。鵜呑みにしないで風通しをよくして考えましょう。③皆さんは後輩たちの良きモデルです。小中学生に啓発する機会を是非つくってください。</p> <p>《感想発表》</p> <p>各校の参加生徒が、本日の感想を述べ合い、今後の ICT 機器との関わり方や ICT の利活用などについて、抱負を共有しました。</p>
参加校：	<p>長野県松本工業高等学校 長野県松本美須々ヶ丘高等学校 長野県明科高等学校 長野県松本深志高等学校 長野県松本県ヶ丘高等学校 長野県北部高等学校 長野県高遠高等学校 (順不同 7校)</p>
日 時：	2020年10月17日(土) 14:00-16:00
場 所：	Zoom によるオンライン開催
参加人数：	<p>熟議参加生徒 26人 見学者・関係者 18人(教員・教育関係者・その他) 合計： 44人</p>

4. 主担当

長野県教育委員会 一般社団法人安心ネットづくり促進協議会	事務局
---------------------------------	-----

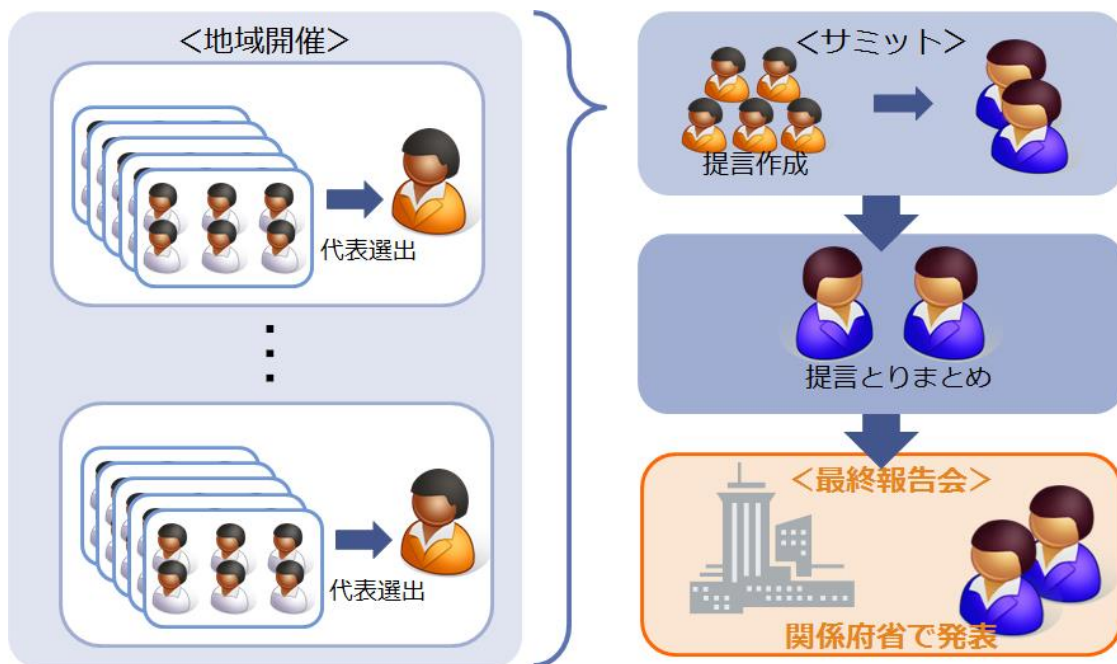
5. 高校生 ICT Conference 2020 サミット

高校生 ICT Conference 2020 サミットは、各地で開催された Conference の成果を高校生の代表として提言をまとめるための場です。その代表者の選考は以下の手順によります。

- 1) 参加が決まった場合、参加生徒を決めていただき、事前に登録をする
- 2) 熟議終了後、参加生徒の投票を基に代表を選出
- 3) 各地の代表者でサミット開催
- 4) サミット終了後、最終報告会で発表する代表を上記手順と同様に選出
- 5) 最終報告会代表者が、サミットの内容を提言にまとめ、最終報告会で提言発表を行う

6. 高校生 ICT Conference 最終報告会

高校生 ICT Conference 2020 サミットで検討された提言を、選出された代表者が報告用にとりまとめ、関係府省庁にて報告を行うとともに、関係府省担当者との意見交換によりコミュニケーションを踏む。



7. 高校生 ICT Conference の成果物と終了後の対応

- 1) グループ発表資料保存（又は模造紙など発表紙面の撮影）
- 2) Conference 終了後、発表内容、講評と併せて高校生 ICT Conference のサイトにアップデート
- 3) 高校生 ICT Conference 2020 サミット終了後、実行委員会にて取りまとめ
- 4) 高校生 ICT Conference 2020 サミット代表者による最終報告会用資料の作成
- 5) 最終報告会での発表

以 上